

平成18年6月19日

文 部 科 学 省

藤家研究イニシアチブの開始について

米国エネルギー省が新たに設立したフェローシップである藤家研究イニシアチブについて、日本原子力研究開発機構から2名の研究者が受け入れられることになりましたのでお知らせします。

1. 経緯

昨年の夏に、米国エネルギー省から文部科学省あてに、前原子力委員長の藤家洋一氏の業績を称え、新たに若い科学者やエンジニアに対するフェローシップを作ることにしている旨の連絡が文部科学省あてにあり、適当な研究者を推薦するよう依頼がありました。文部科学省としては、本プロジェクトが試行的なものであることから、当省が所管する日本原子力研究開発機構から適当な研究者を推薦することとしました。

2. 内容

日米協力の一層の向上を図るために、2名を1年間受け入れる試行的なプログラム。受入れ先機関は、アイダホ国立研究所。

3. 選出基準

英会話や技術会話が流暢であること

日本の研究所、大学、研究機関で働いている修士、博士、ポスドクを有する者
次の分野のひとつをバックグラウンドとすること

- ・ 先進的な原子力システム炉とエネルギー技術
- ・ 先進的な燃料サイクル技術
- ・ 原子力水素

4. 選出結果

当省は、上記基準に沿った研究者2名を推薦し、米国エネルギー省は、受入れについて了解しました。6月20日より、本プログラムは開始されることとなります。

5. 受入れ決定者

大橋弘文（おおはしひろふみ） 受入れ分野：原子力水素

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 原子力基礎工学研究部門

コジェネレーション高温ガス炉設計評価グループ

矢野公彦（やのきみひこ） 受入れ分野：先進的な燃料サイクル技術

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター

核燃料サイクル工学研究所 サイクル工学試験部 技術課

（お問い合わせ）

研究開発局原子力計画課 佐野

電話：03 - 6734 - 4161（直通）

03 - 5253 - 4111（内線4542）